

水道セクターを設立

水道分野強化へ横断的に連携

オリジナル設計 「水道」一体やW・P・Pの対応強化へ

オリジナル設計は、Onew Era Begins。技術の融合・つながり！」をスローガン

水道セクターは、「N



菅社長



大東社長



設立記念パーティーで一致団結した参加者

に、部署間を跨いで点在する水道技術者を、またグループ企業との融合・つながりを意識し、OECグループとして水道事業の発展へ挑戦していく組織。水道分野を強化すること、上下水道一体化やウォーターP・Pへの対応力強化を目指す。

は、上下水道事業を一体的に対応できるコンサルティングサービスを継続して提供していくとしている。また、今期新たにグループインした日本技術サービスと協業し、OECグループとしての水道業務受注・売上の拡大を目指す。

水道セクターでは、全社の水道業務の調整や水道部門の統括などを行い、具体的な役割としては▽部署を跨いだプロジェクトを形成し個人スキルのセクター内での共有▽応札検討(原価算出・難易度・不可)などの判断▽配置技術者の選任調整▽水道受注戦略との連携▽人材育成(OJT・Off-JT)の実践▽設計業務における照査会の実施と情報共有による品質確保▽水道業務の主たる担い手の抽出、獲得・育成などとなる。

菅伸彦・オリジナル設計社長は「当社は上下水道専門のコンサルタントだが、日経コンストラクションのアンケート調査をみると下水道分野の売上は4位前後、水道・工業分野は10位以下となっている。一方、お集まりの皆様の経歴をみると、非常に多くの業務経験、資格を持ち、ここまで陣容が揃っている状況であれば水道分野を強化できる体制が整いつつある」と思っている」と水道セクターの設立の背景を説明。さらに「自治体からも期待されているので、入札の要件をクリアしながら、受注を続けて、水道分野に力を入れている企業として発展させていきたい。また、皆様が核になつて中途採用者や新卒者の指導をしてほしい」と呼びかけた。

同セクターの設置により、今後は上下水道一体化を背景に顧客要求にトータルで応えることができるように上下水道分野等の既存事業モデルの変革に対応する。具体的に

キックオフミーティングは、新設された水道セクターの役割、目的などを社内メンバーへ共有するとともに、今後の進め方などを議論する場として開催したものとなる。

水道産業新聞

2025年(令和7年)12月15日(月曜日)

"水道セクター"を設立

オリジナル設計
全国の水道技術者結集

オリジナル設計（OEC）菅伸彦社長は10月30日、広島市内で同社の部署横断型グループ「水道セクター」の設立パーティー



菅社長・水道セクターメンバーら

ィを開催。全国から同セクターの技術者約30人が、開催中であつた「2025広島水道展」の視察を兼ねて集結した。同セクターの役割や目的等をメンバー間で共有するとともに、同社の今後の水道事業強化を誓い合つた。

同社が今年5月に策定した中期経営計画「ヴィジョンリーMAP（V.M.2025）」が掲げる8本の戦略テーマの1番目「上下水道一体化」等の既存事業領域の事業モデル変革への対応では、社会構造と顧客のニーズの変化に柔軟に対応するためには水道事業を強化し、ウォーターPPP等との官民連携を推進することとを掲げている。

同セクターは同テーマ実現の柱となる組織で、「New Era Begins」技術の融合・つながる力、新たな挑戦の始まり！」をスローガンとしている。部門間を跨いで点在する水道技術者、ならびにグループ企

業との融合・つながりを意識し、OECグループ全体として水道事業の発展に挑戦していく。

同セクターの役割は、同社の上下水道部門を強化するため各部署の水道技術者を集めてその知恵と技術を結集し、横断的な連携強化を図ること。全社的な水道業務の調整や水道部門の統括等も行う。

具体的な役割は、次の通り。
▽部署をまたいだプロジェクトの形成による個人スキルのセクター内共有▽応札検討（原価算出・難易度等の判断）▽配置技術者の選任調整▽水道受注戦略との連携▽人材育成（OJT・OffJT）の実践▽照査会の実施と情報共有による品質確保▽水道業務の主たる担い手の抽出、獲得、育成

上下水道の一体的な事業運営がニーズとして挙がる中、今後顧客ニーズにトータルで応える上下水道コンサルティングサービスを提供していく。

今年7月には、水道事業の設計・監督を主要事業としている日本技術サービスグループ化しており、同社とも協業し、OECグループとしての水道部門の生産性向上・競争力強化を進め、受注拡大を目指す。

菅社長はあいさつで「当社は、かつては上下水道部分をあまり強化でき

ていないところがあったが、近年多くの有資格者・経験者が入社し、強化に向けた体制が整いつつある。私も水道展を視察したところ、多くの企業から当社の水道部門強化への期待の声が寄せられた。『水道セクター』に集まった皆さんの経験とスキルを結集させることで、水道分野全体を大きく発展させることができ、営業部門とも連携させ、地域の期待に応える組織としていきたい」と期待を寄せた。